

福島第二原子力発電所 2号機の耐震安全性評価結果  
中間報告書（改訂版）の一部訂正について

### 1. 概要

中間報告以降、耐震安全性評価を進めていたところ、中間報告の対象7設備のうち、2設備において評価結果の訂正が必要となることがわかりました。

訂正後の評価結果においても、耐震安全性に問題がないことを確認しました。

表1 中間報告の対象設備の再評価結果 (単位: MPa)

評価対象設備	評価部位	計算値(修正前)	計算値(修正後)	評価基準値
原子炉圧力容器	基礎ボルト	8	変更無	384
原子炉格納容器	ドライウェル	33	変更無	380
炉心支持構造物	シュラウドサポート	206	224	300
残留熱除去系ポンプ	基礎ボルト	14	変更無	350
残留熱除去系配管	配管本体	240	変更無	364
主蒸気系配管	配管本体	217	変更無	309
制御棒(挿入性)	-	15.8mm	16.8mm	40.0mm

: 評価結果が影響を受ける設備。他の設備は影響を受けない。

### 2. 評価結果の訂正に至った経緯

平成21年2月頃、本件の解析を実施し、平成21年4月に中間報告書を提出しました。

その後、耐震安全性評価を進めていく過程で解析結果の検証作業を進めていたところ、既報告の解析モデルの一部に誤りが発見されました。

解析を実施した当時、解析の妥当性の確認方法が明確になっていなかったが、中間報告書提出からこれまでの間に、解析結果の妥当性に関する検証方法の見直しを行っており、本件は見直し後の妥当性検証によって解析モデルの一部に誤りがあることが発見されたものであり、現在は同様の誤りを防ぐことができる仕組みになっています。

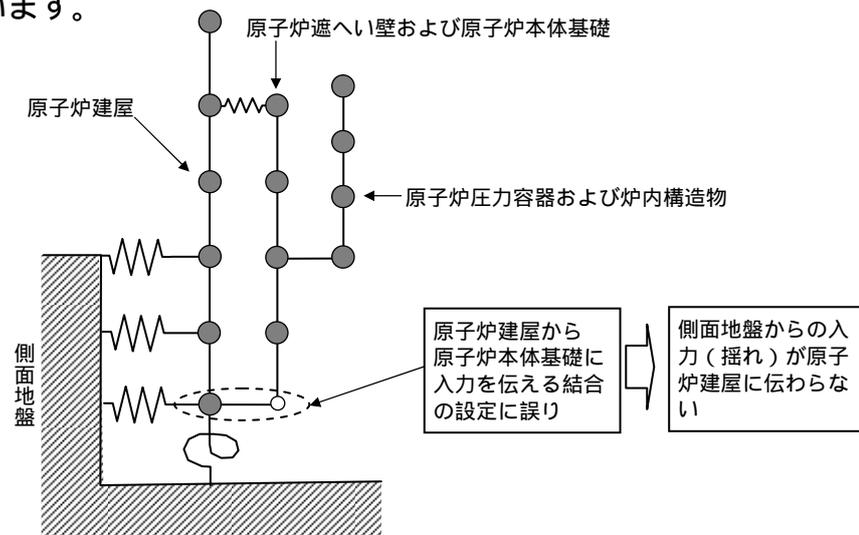


図1 解析モデルのイメージ図

### 3. 今後の取り組み

- ・見直された解析結果の妥当性に関する検証方法による確認を、確実に実施していきます。
- ・解析モデルに本件と同様の誤りがある場合、計算が停止し、計算が行われないうちに計算機プログラムを修正します。